

(研究報告) 抄録用紙

演題名 (全角 80 字以内)	ガイアリハビリ訪問看護ステーションに対する ケアマネージャー満足度調査の報告
演者名	1) 渋谷明子 2) 後藤論行
所属	1) ガイアリハビリ訪問看護ステーション 作業療法士 2) ガイアリハビリ訪問看護ステーション 理学療法士

研究方法 (右から番号を選び NO. 欄に番号をご記入ください)	1. 症例報告 2. 症例シリーズ報告 3. コホート研究 4. 症例対照研究 5. 調査研究 6. 介入研究 7. 二次研究 8. 質的研究 9. その他研究	NO.
		5

目的 当ステーションが求められているニーズや改善すべき点などを把握するため、またサービス提供が適切かを確認するために当ステーションご利用者様の担当ケアマネージャー様へアンケート調査を実施した。

方法

当ステーションご利用者様の担当ケアマネージャー様 650 名へアンケート調査を実施した。調査票には趣意書を添付し当社に直接返送とした。なお、調査票の返送をもって同意を得たものとした。

結果

回答のあったケアマネージャー様 332 名 (51.1%) を分析対象とした。属性として基礎資格は介護福祉士が最も多く 67.8%、ついで社会福祉士が 12.0%であった。経験年数は 5 年以上 10 年未満が最も多かった。当ステーションのサービス提供に対する総合的な満足度は 10 点満点中、8.4 点であった。ご利用者様の気持ちや思いを大切にしているとの回答は 99%、訪問看護報告書の内容について適切であるという回答は 95%であった。一方、担当者会議への出席については 85%のケアマネージャー様が積極的に参加していると考えているが、15%は積極的な参加がなされていないと感じていることがわかった。また、医療の専門的なことがわからないので教えてほしいというコメントや、本人や家族だけでなくケアマネージャー・ヘルパー・デイのスタッフへのアドバイスも期待しているというコメントが見られた。

考察

集計結果より、訪問看護業務として一定の評価を受けていることが分かった。しかし、担当者会議への出席を始め、改善する課題は点在していることも把握できた。担当者会議については、訪問が固定されている訪問担当者への出席は困難なことが多いが、情報共有している上長等の代理出席の積極的な実施が解決策だと考える。また、ケアマネージャー様の基礎資格の多くは福祉職であり、当ステーションのスタッフには専門的な指導やアドバイスが期待されていることがわかった。今回の結果を真摯に受け止め、さらに充実したサービス提供を行っていきたい。